

現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月15日	
NO	61
場所	A棟
部位	床スラブ (S3)

段差部の幅が2D (スラブ厚さ×2倍=300mm) に満たない箇所があることを指摘。




令和5年6月16日	
NO	62
場所	A棟
部位	床スラブ (S3)

上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。




令和5年6月15日	
NO	63
場所	A棟
部位	床スラブ (S3)

スリーブ開口部周りの補強筋が計画 (施工図) 通りに設置されていることを確認。(定着長さ : $L1 = D13 \times 40 = 520\text{mm}$ 以上)




現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月15日	
NO	64
場所	A棟
部位	床スラブ (S3)

スリーブ廻りに鉄筋かぶり厚さ (20mm以上) が不足している箇所があることを指摘。




令和5年6月15日	
NO	65
場所	A棟
部位	床スラブ (S3)

上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。



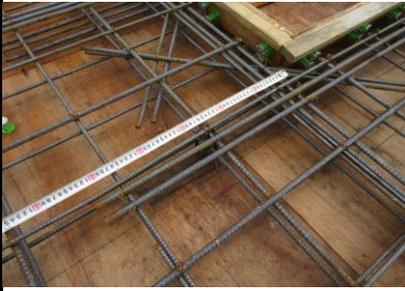

令和5年6月15日	
NO	66
場所	A棟
部位	床スラブ (S3)

ダメ穴開口補強筋が計画 (施工図) 通りに設置されていることを確認。(開口廻りの縦横: 上筋2-D13、下筋2-D13)




現況検査により認められる状況の記録

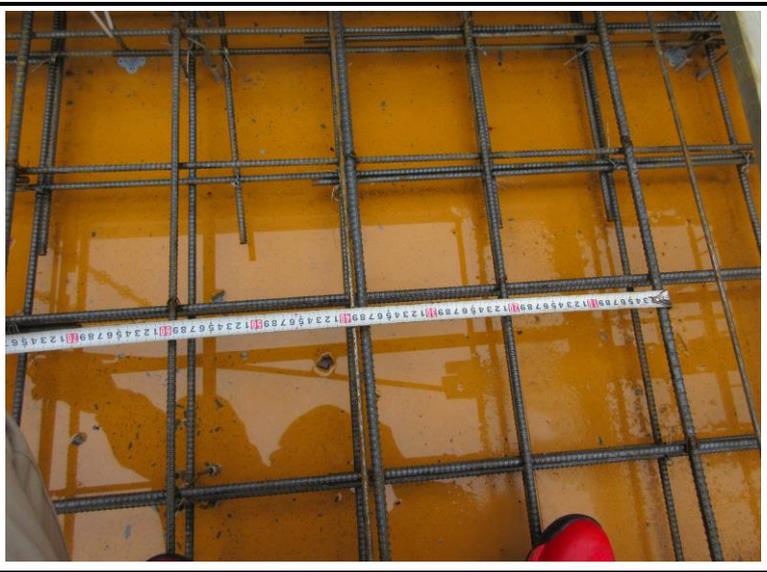
令和5年6月15日	
NO	67
場所	A棟
部位	床スラブ (S3)
同上。余長部の定着長さ (L1 : D13×40 d = 520mm) が確保されていることを確認。	




令和5年6月15日	
NO	68
場所	A棟
部位	床スラブ (S3)
同上。(開口廻りの斜筋: 上筋1-D13、下筋1-D13) また、余長部の定着長さ (L1 : D13×40 d = 520mm) が確保されていることを確認。	

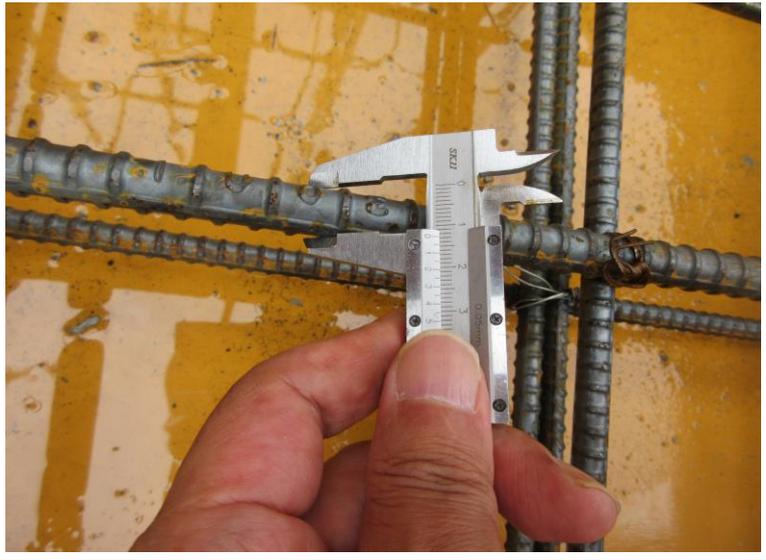



令和5年6月15日	
NO	69
場所	A棟 (バルコニー)
部位	キャンティスラブ (CS1)
計画通りの配筋組であることを確認。上端主筋D10・D13@200mmチドリ	

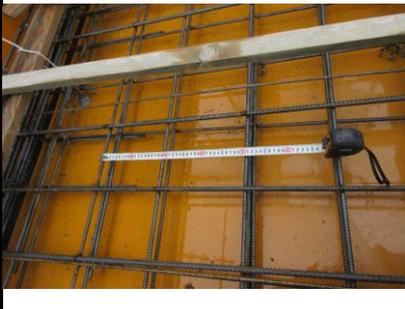



現況検査により認められる状況の記録

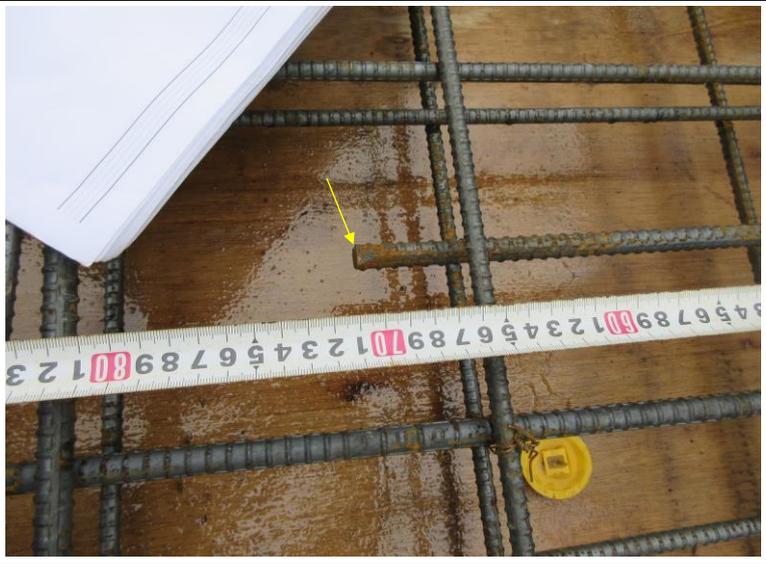
令和5年6月15日	
NO	70
場所	A棟 (バルコニー)
部位	キャンテイスラブ (CS1)
同上。	

令和5年6月15日	
NO	71
場所	A棟 (バルコニー)
部位	キャンテイスラブ (CS1)
同上。	




令和5年6月15日	
NO	72
場所	A棟 (バルコニー)
部位	キャンテイスラブ (CS1)
上端主筋の定着長さ (梁面内面より500mm以上) が計画 (施工図) 通りに確保されていることを確認。	

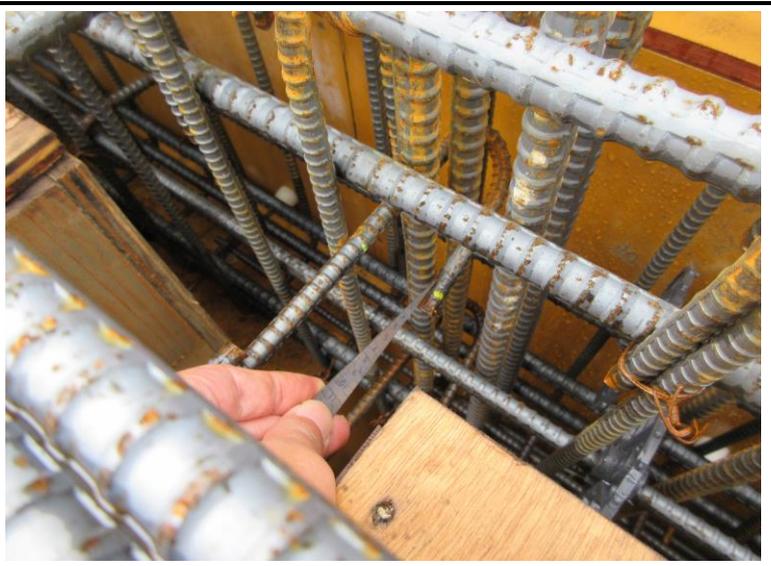



現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月15日	
NO	73
場所	A棟 (バルコニー)
部位	キャンティスラブ (CS1)
段差部の補強筋 (D13×2箇所) が計画通りに設置されていることを確認。	




令和5年6月15日	
NO	74
場所	A棟
部位	雑壁 (W15)
梁の落とし込み設置後に雑壁 (W15) 端部の定着が行われていることを確認。	

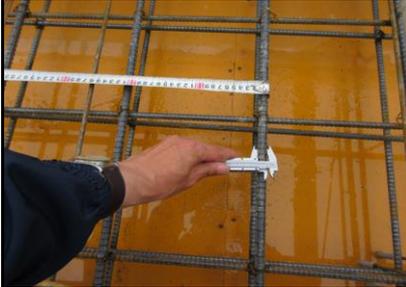
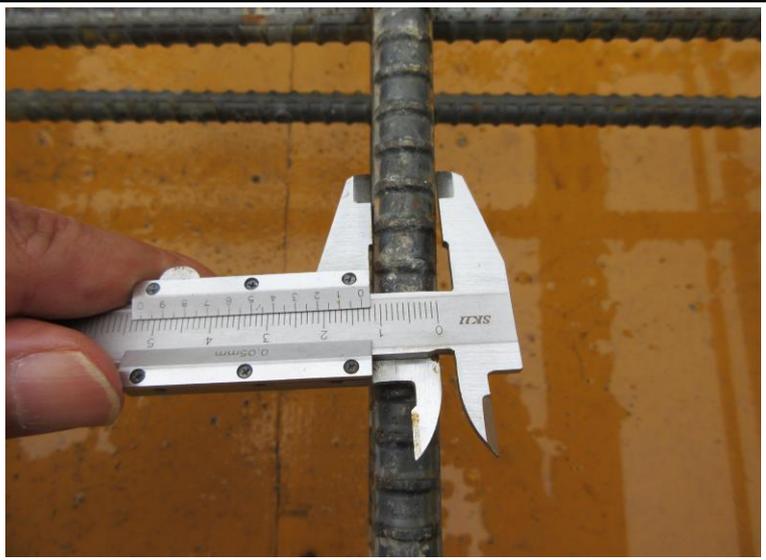



令和5年6月15日	
NO	75
場所	A棟
部位	外部廊下 (CS2)
計画通りの配筋組であることを確認。上端主筋 (短辺方向) D13@200mm	

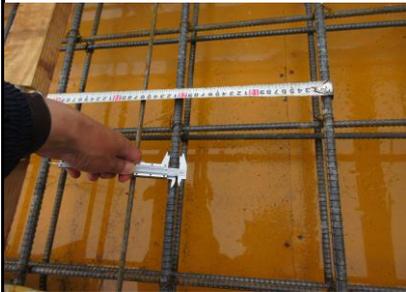



現況検査により認められる状況の記録

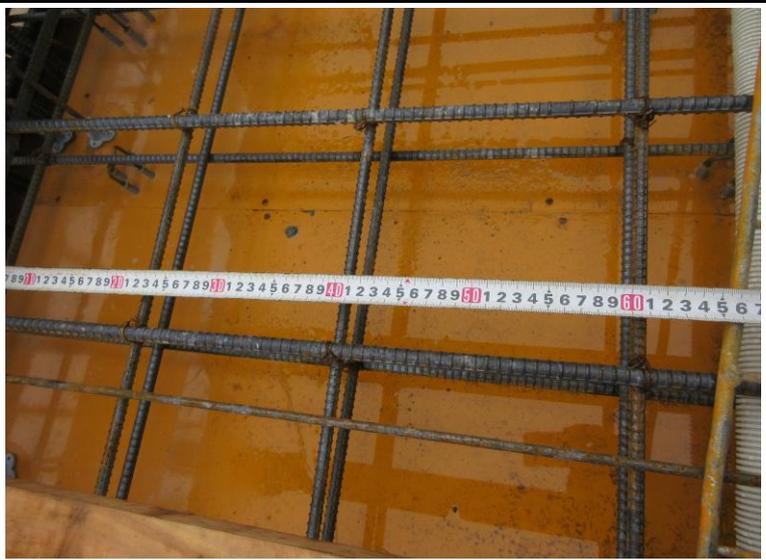
令和5年6月15日	
NO	76
場所	A棟
部位	外部廊下 (CS 2)
同上。	

令和5年6月15日	
NO	77
場所	A棟
部位	外部廊下 (CS 2)
同上。	




令和5年6月15日	
NO	78
場所	A棟
部位	外部廊下 (CS 2)
計画通りの配筋組であることを確認。配力筋 (長辺方向) D10@200mm	

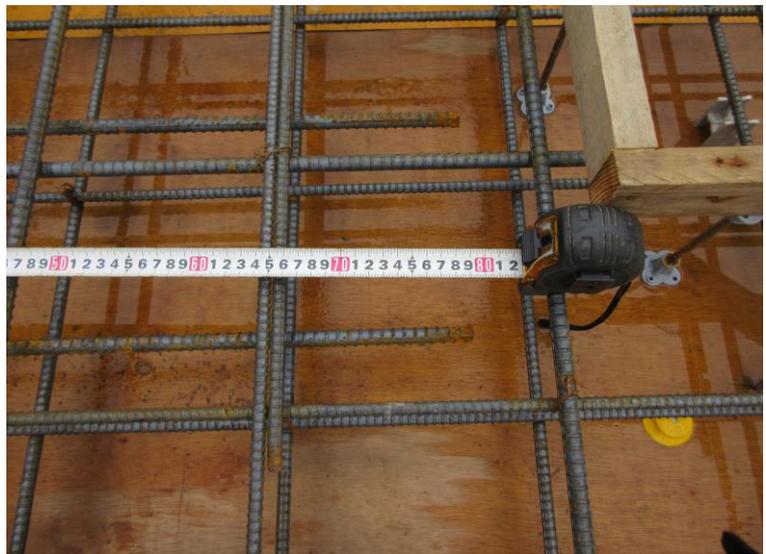



現況検査により認められる状況の記録

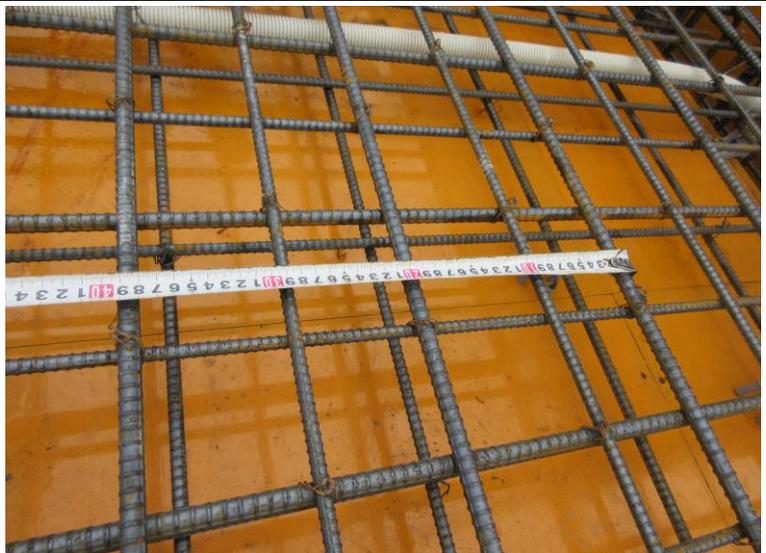
令和5年6月15日	
NO	79
場所	A棟
部位	外部廊下 (CS2)
スラブ上下面の鉄筋かぶり厚さ (20mm以上) が確保されるようスペーサーが設置されていることを確認。	



令和5年6月15日	
NO	80
場所	A棟
部位	外部廊下 (CS2)
上端主筋の定着長さ (梁面内面より500mm以上) が計画 (施工図) 通りに確保されていることを確認。	

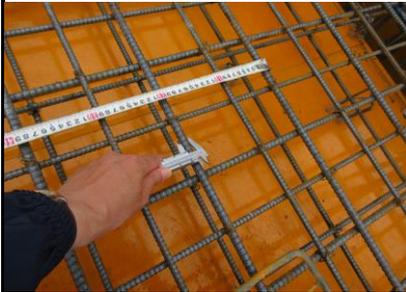
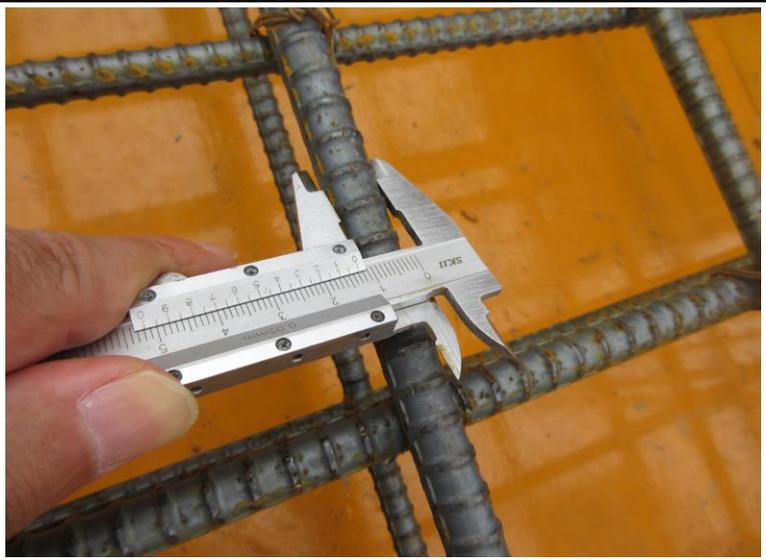


令和5年6月15日	
NO	81
場所	A棟
部位	外部廊下 (S5)
計画通りの配筋組であることを確認。上端筋：D10・D13@100mm (縦横共)	

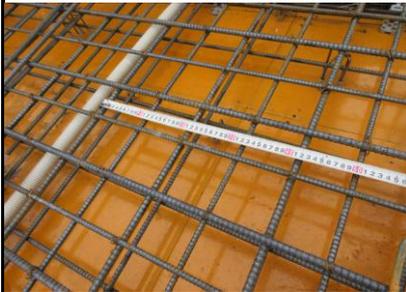


現況検査により認められる状況の記録

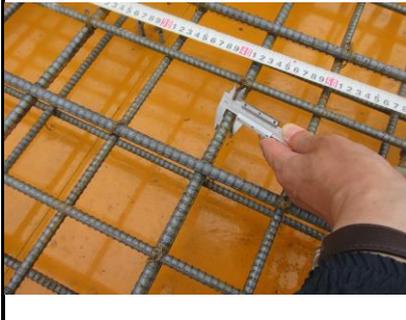
令和5年6月15日	
NO	82
場所	A棟
部位	外部廊下 (S5)
同上。	

令和5年6月15日	
NO	83
場所	A棟
部位	外部廊下 (S5)
同上。	




令和5年6月15日	
NO	84
場所	A棟
部位	外部廊下 (S5)
同上。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月15日	
NO	85
場所	A棟
部位	外部廊下 (S5)
スラブ上下面の鉄筋かぶり厚さ (20mm以上) が確保されるようスペーサーが設置されていることを確認。	



令和5年6月15日	
NO	86
場所	A棟 (EVシャフト)
部位	梁 (G0)
EVシャフト周囲を構成する梁 (G0) の施工状況。	



令和5年6月15日	
NO	87
場所	A棟 (EVシャフト)
部位	梁 (G0)
計画通りの配筋組であることを確認。(上下主筋: 2-D16)	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月15日	
NO	88
場所	A棟 (EVシャフト)
部位	梁 (G0)
同上。	




令和5年6月15日	
NO	89
場所	A棟 (EVシャフト)
部位	梁 (G0)
計画通りの配筋組であることを確認。(せん断補強筋: D10@200mm)	




令和5年6月15日	
NO	90
場所	A棟 (EVシャフト)
部位	梁 (G0)
梁側面の鉄筋かぶり厚さ (30mm以上) が確保される状況であることを確認。	